

食育月間の取り組み

取組団体・施設名	NPO 法人 コミュニティワーク つどいの広場 Twinkle	
取組の名称	野菜スタンプであそぼう	
実施時期	R8 年6月 25 日	
取組みの目的	☐ 共食の推進 ☐ 朝食の摂取 ☐ 栄養バランスの良い食事の摂取 ☒ 野菜の摂取 ☐ 生活習慣病やフレイル予防・改善のための良い生活習慣の実践	☐ よくかんで味わって食べる ☐ 栄養成分表示への理解促進 ☒ 食品の安全性に関する知識の普及 ☐ 農産物の栽培体験の機会提供 ☒ 食品ロスの削減 ☐ 伝統料理や郷土料理の伝承
取組内容	参加者: 大人5名・0～2 歳の子ども 5 名・地域ボランティア1名 『箱の中身はなんだろう?』のクイズ形式で、夏野菜に触れ、ツルツルやザラザラした触り心地を親子で実感してもらいました。 野菜それぞれの切った断面を実際に見てもらい、野菜カードにスタンプを押して楽しみました。 最後に傘型の画用紙に好きな野菜、好きな色を選んで模様をつけました。 色とりどりの傘が出来上がり、とても色鮮やかでした。 野菜スタンプを通して、野菜への親しみが増し、食への興味に繋がればいいなと思いました。    	

食育月間の取り組み

取組団体・施設名	くすのきわんぱくクラブ	
取組の名称	遊びを通して食事の楽しさ、大切さを知ろう！！	
実施時期	6月	
取組みの目的	☒ 共食の推進 ☐ 朝食の摂取 ☒ 栄養バランスの良い食事の摂取 ☒ 野菜の摂取 ☐ 生活習慣病やフレイル予防・改善のための良い生活習慣の実践	☒ よくかんで味わって食べる ☒ 栄養成分表示への理解促進 ☐ 食品の安全性に関する知識の普及 ☐ 農産物の栽培体験の機会提供 ☐ 食品ロスの削減 ☐ 伝統料理や郷土料理の伝承
取組内容	絵本やエプロンシアター、ゲームを通して食材に興味を持ってもらい、食べることの楽しさにつながるよう取り組んだ。 絵本は、大型の仕掛け絵本を使用し、今回は畑で採れる食材を描いたものを選んだ。普段スーパーでよく目にする野菜が、どのような形で育っていくのかをしかけ絵本のからくりを通して、子ども達は楽しく学んでいた。 保護者の方々からも、『買い物の際に実物をみせたい』『一緒にスーパーに行くのが楽しくなる』という声も聞くことができ、親子の会話の中に食育が大切なんだと喜ばれる姿も見られた。 エプロンシアターでは、絵本に出てきた食材が、具体的にどのような働きをするのか学ぶ時間となり、子ども達にもお料理のマスコットを貼ってもらったり、パペットの口に食材を運んでもらったりして、楽しく食べることの大切さを体験した。 カラーボールを使って三色食品群の食材分けゲームでは、野菜以外の食材も登場し、保護者の方と食材の名前を覚えたり、ボールの色を見て、それぞれがどのような働きをしていくのかを聞いたり、話したりする姿が見られた。 最後に食事の時間が楽しいリラックスした時間となるように気になることや困りごとなど、お話する時間を持ち、その中で『私だけではなかった』『アイデアをいただいた』など、前向きに子どもと向き合えるという話もあり、とても有意義な時間となった。	



食育月間の取り組み

取組団体・施設名	社会福祉法人どんぐり福祉会 つどいの広場つみき	
取組の名称	食育月間のとりくみ	
実施時期	2026年6月	
取組みの目的	☒ 共食の推進 ☐ 朝食の摂取 ☐ 栄養バランスの良い食事の摂取 ☒ 野菜の摂取 ☐ 生活習慣病やフレイル予防・改善のための良い生活習慣の実践	☐ よくかんで味わって食べる ☐ 栄養成分表示への理解促進 ☐ 食品の安全性に関する知識の普及 ☒ 農産物の栽培体験の機会提供 ☐ 食品ロスの削減 ☐ 伝統料理や郷土料理の伝承
取組内容	6月中旬 リズムあそびを実施した中で 野菜の絵本を読んで、野菜が出てくる歌の手あそびをしました。 6月下旬 隣接して通年借りている畑にきゅうり、ミニトマト、とうもろこし、ししとう、ゴーヤを植えているので、生育のようすを見に行きました。 この野菜はこんな葉っぱなんだー とか、買い物では野菜の赤ちゃんの時は見ないもんねーという感想でした。いずれ収穫できる時期になれば、試食も考えたいと思います。	

食育月間の取り組み

取組団体・施設名	東大阪市 つどいの広場 ほんわかルーム	
取組の名称	食育月間 製作「お弁当づくり」 絵本で食育	
実施時期	製作 2026 年 6 月 3 日(水)～6月 5 日(金) 絵本 2026 年 6 月 1 日(月)～6 月 30 日(火)	
取組みの目的	☒ 共食の推進 ☐ 朝食の摂取 ☒ 栄養バランスの良い食事の摂取 ☒ 野菜の摂取 ☐ 生活習慣病やフレイル予防・改善のための良い生活習慣の実践	☐ よくかんで味わって食べる ☐ 栄養成分表示への理解促進 ☐ 食品の安全性に関する知識の普及 ☐ 農産物の栽培体験の機会提供 ☐ 食品ロスの削減 ☐ 伝統料理や郷土料理の伝承
取組内容	【目的】 ・色々な食べ物があることを知り、食べ物に興味や親しみを持ってもらう。 ・親子で一緒に取り組むことで、食べ物について話し合ったり考えたりしてもらう。 ・ご家庭での食育のきっかけにしてもらう。 【対象】 0～3 歳児の子どもとその保護者 【場所】 つどいの広場 ほんわかルーム 【取り組み】 ・毎日の読み聞かせの時間に、食べ物に関する絵本を読む。 ・保護者の方に、ご家庭でもできる食育についてお話しをする。 ・旬の食材を掲示して、食材に興味を深めてもらう。 ・お弁当の食材を選ぶことで、好きな物やバランスを知ってもらい、自分好みのお弁当を通じて食への興味を持ってもらう。 【参加者の様子】 ・絵本の読み聞かせでは、子どもだけでなく保護者の方にも参加してもらいました。どの絵本も親子で楽しまれ、保護者の方々は絵本を通して交流もされていました。 ・お弁当づくりは、食材を選ぶことから始めました。好きなものを選んだり、親子で相談して食材や個数を決めたりしながら、楽しそうに選ばれていました。 ・食材をお弁当箱に貼ったり色を塗ったりすると、ますます個性的でおいしそうなお弁当ができていました。 ・SNS などを見て、興味を持って来てくださる方もいらっしゃいました。	

食育月間の取り組み

取組団体・施設名	東大阪市特定非営利活動法人コミュニティワーク つどいの広場 キッズステーション	
取組の名称	小麦粉粘土 de お弁当作り	
実施時期	令和8年 6 月 23 日(火)	
取組みの目的	☒ 共食の推進 ☐ 朝食の摂取 ☒ 栄養バランスの良い食事の摂取 ☒ 野菜の摂取 ☒ 生活習慣病やフレイル予防・改善のための良い生活習慣の実践	☒ よくかんで味わって食べる ☐ 栄養成分表示への理解促進 ☒ 食品の安全性に関する知識の普及 ☐ 農産物の栽培体験の機会提供 ☒ 食品ロスの削減 ☒ 伝統料理や郷土料理の伝承
取組内容	目的:小麦粉と水を使ってサラサラな小麦粉から小麦粉粘土になる感触を楽しみ、更に食紅を使って色の変化を感じながら、親子でお弁当を作ってみんなで一緒に食べる真似(模倣遊び)を楽しむ。 また、バランスの良い食事や家庭で食中毒を防ぐ方法など、梅雨時期に安心して食を楽しんでもらえるように知識を共有する。 対象者:0歳～4歳頃の子どもと保護者 人数:親子 8 組 子ども 10 名 実施内容:小麦粉に水を入れて親子で粘土になるまでこね、赤や緑、黄色の食紅を混ぜ、色の変化や小麦粉をこねる感触を楽しみながら、色々な色の粘土を作りました。ちぎって丸めたり、型抜きで型を抜いたりして、おいしそうなお弁当を作りました。  	

食育月間の取り組み

取組団体・施設名	NPO法人コミュニティワーク つどいの広場ピッコロ	
取組の名称	・寒天 春雨あそび ・パン作り	
実施時期	令和8年6月	
取組みの目的	☒ 共食の推進 ☐ 朝食の摂取 ☐ 栄養バランスの良い食事の摂取 ☐ 野菜の摂取 ☐ 生活習慣病やフレイル予防・改善のための良い生活習慣の実践	☒ よくかんで味わって食べる ☐ 栄養成分表示への理解促進 ☐ 食品の安全性に関する知識の普及 ☐ 農産物の栽培体験の機会提供 ☐ 食品ロスの削減 ☐ 伝統料理や郷土料理の伝承
取組内容	「寒天 春雨あそび」 食紅で色付けした寒天や春雨で、感触あそびを行いました。子どもたちはカラフルな寒天と春雨に興味津々で、手で握ったり、ちぎったり、お皿やカップに入れておままごと遊びをしたり、夢中になって取り組んでいました。 寒天や春雨の感触に驚いたり、喜んだりと色々な表情を見せてくれました。   「パン作り」 6月の季節にちなんで、「かたつむりパン」を作りました。 大麦入りの生地の特徴的な香りを感じたり、親子で生地を細長く伸ばし渦巻状に丸める成型体験をしました。具材をトッピングして、オーブンで焼き、焼き上がったパンを試食しました。自分で作ったものを食べる喜びを感じながら、完食していました。   	